【編集】敦賀商工会議所 【定価】1部100円 【印刷】有限会社 創広 【発行日】2022年6月15日

No.664



通

議

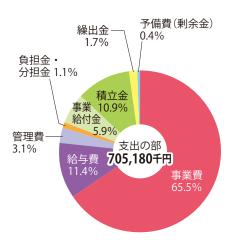
6

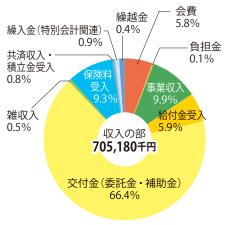
月

10

日

令和3年度 収支決算の概要





	合計	705,180 千円
	予備費(剰余金)	3,030 千円
部	繰出金	12,232 千円
の	積立金	77,199 千円
щ	事業給付金	41,746 千円
出	負担金・分担金	8,009 千円
支	管理費	21,704 千円
	給与費	79,869 千円
	事業費	461,391 千円

	合計	705,180 千円
	繰越金	2,702 千円
	繰入金(特別会計関連)6,466 千円
部	共済収入・積立金受力	5,766 千円
の	保険料受入	65,433 千円
	雑収入	3,701 千円
λ	交付金(委託金・補助金)	468,367 千円
収	給付金受入(退職従業員用	41,746 千円
	事業収入	69,331 千円
	負担金	998 千円
	会費	40,670 千円

原子力発電所の をしていかねばならない。 難な状況が続く今こそ、 原材料価格の高騰や円高の進行などで、 会頭 令和3年度事業報告と収支決算について承認可決されました。 の挨拶では、 早期再稼働をはじめとするエネル 「昨年度は、 我々が、 2年間にわたる新型コロナの影響を受ける中、 2年後の北陸新幹線敦賀開業への対応、 関係機関との連携をリードして、 追い打ちをかけられた年となったが、 政策に関する課題について

確かな舵取り 或いは、

ぞれぞれ、

しっかりと地域経済の底上げにつなげていきたい」と述べました。